

バケツに一杯獲れました！ ～ます釣り・ますつかみ大会～

5月5日（土・祝）午前8時から「ます釣り大会（西濃水産漁業協同組合安八支部主催）」、午後1時から保育園児、小学生を対象とした「子どもますつかみ大会（同大会実行委員会主催）」が西結地内の中須川用水路で行われました。

両大会には体長20センチを超えるますが約5,000匹放流され、家族連れら約1,500人が楽しみました。

この大会は、子どもたちに用水路を利用した魚獲りや水遊びを通し、水に親しむ楽しさを知ってもらおうと毎年開催され、今年で14回目となります。



▲夢中でますを捕まえる子どもたち



▲ます釣りを楽しむ参加者たち

当日は晴天に恵まれ、参加した子どもたちは元気一杯に歩き慣れない水の中で服をびしょびしょに濡らしながら、夕モや素手で逃げるますを夢中で捕まえていました。

また、大人たちも童心に戻ったかのように子どもたちといっしょに楽しんでいました。

終了後、参加した子どもたちは、ますで一杯のバケツを手に「こんなにたくさん獲れたよ！」と家族に嬉しそうに見せていました。

いざ！というときに備えて…

4月15日（日）西結中組地区で防災訓練が行われ、地域の方約100人が参加しました。同地区では、毎年この時期に開催され、今回で8回目となります。

訓練は大地震発生を想定し、避難誘導訓練や、東分署職員の指導による救助器具取り扱い訓練、水消火器による初期消火訓練など災害時に自分たちができることを学びました。

また、今回の訓練では地震体験車に4～6名ずつ乗車して震度7の揺れを体験しました。

参加者らは、揺れが大きくなると手すりや机に必死につかまり、地震の怖さを改めて認識していました。



▲激しい揺れを体験する訓練参加者



▲水消火器による初期消火訓練

また、5月13日（日）には町女性防火クラブが名森小学校運動場で全体訓練を行いました。

訓練は、東分署職員や町消防団の指導を受けて、規律訓練や、水消火器による初期消火訓練、消火栓やホースの取り扱い方法などを学び、防火に対する意識を高めました。

訓練に参加したクラブ員は「火災はあってはいけないことですが、いざというときは、この訓練で学んだことを確実に行き、また、常日頃から防火に対する心構えをしっかり持っていきます」と話していました。